

# みんなの広場

サークル仲間 136

鮎川婦人会

## 気軽に楽しむ交流サロン わいわい広場「フラット」

鮎川婦人は、現在10人のメンバーで活動しており、まちの清掃活動や地域芸能の継承、各行事への参加など、幅広く活動しています。

現在、鮎川の町は、震災復興によりきれいに整備されています。しかし、長年暮らしてきた町の変化は、どこか寂しさを感じるものです。また、震災によって商店が大幅に減少し、地域の人々が顔を合わせる機会が減少したこと、親戚や友人の転居、高

台移転などによって、人付き合いが変化するなど、震災前とは違う環境になっています。

鮎川婦人では、何気ない日常生活の中に支え合える場所を提供するため、気軽に「ふらっと」立ち寄れて、誰でも「フラット」に楽しめる交流サロン「わいわい広場フラット」を令和2年から開催し、今年で3年目となります。

い話を楽しんだり、リース作りなどの催しも行っていますが、好きな時に来て、好きな時に帰れる気軽さから、買い物帰りに少しだけ立ち寄る方もいます。そういった、少しの時間でも交流の機会が増えることによって、支え合うまちづくりを実現したいと活動を続けています。

「わいわい広場フラット」は、子どもからお年寄り、他の地域の方、誰でも参加することができ、予約も不要です。鮎川浜の旧情報交流館(牡鹿公民館跡地)で、毎月第2、第4水曜日の午前10時から午後3時まで開催しています。鮎川にお越しの際は、喫茶店感覚で「ふらっと」立ち寄ってみませんか。

※参加費用 お茶代として100円(何度でも出入り自由です)



ふらっと立ち寄れるサロン

大きな看板でアピール

## ささえあいセンター通信 ⑨

市では、市民の皆さんが住み慣れた地域でいつまでも安心して、その人らしい生きがいのある生活が送れるよう地域の医療と介護の連携を促進しています。また、在宅医療・介護の普及・啓発にも取り組んでいます。



身近な「かかりつけ医」と「病院」が連携しながら地域医療を担っています。

### かかりつけ医のススメ

「この症状、どこで診てもらったらいいかな?」そんな時、頼りになるのが「かかりつけ医」です。健康に関する相談のほか、必要な時に専門の医療機関を紹介してくれる身近で頼りになる地域の診療所やクリニックなどです。いざというとき困らないように、かかりつけ医を見つけませんか。

#### ●かかりつけ医がいるメリット

##### ①病気の予防・早期発見につながる

継続して同じ医師の診察を受けることで、体質やアレルギー、日頃の生活習慣、これまでかかった病気など把握されやすくなり、異変に気づきやすく、早期発見につながります。また、さまざまな健康上の相談が気軽に相談できる医師を持つことで、日常の健康管理のアドバイスが受けられるなど、新たな病気の予防にも効果的です。

##### ②専門の病院を紹介してくれる

より専門的な治療が必要かどうか判断し、適切な医療機関を紹介してくれます。その際、かかりつけ医は症状や経過など治療に役立つ情報を添えて紹介状を書くので、紹介先の医療機関は、それらを参考に診断や治療ができます。

#### ●かかりつけ医を選ぶポイント

- ・職場や自宅に近いところ
- ・患者の話をしっかり聞いてくれて、気軽に相談しやすい
- ・病気・治療・薬について分かりやすく説明してくれる
- ・必要に応じて適切な専門医や病院を紹介してくれる
- ・連携先の医療機関はどこになっているか など

子どもや高齢者のいる家庭、糖尿病や高血圧症などの生活習慣病で定期的に通院しなければならない人は、特に通いやすいところがおすすめです。

近くで探してみよう!

石巻圏域の医療機関に関する情報を閲覧することができます。

石巻市在宅医療・介護連携ウェブサイト



☎ 介護福祉課(内線2437)

## 石巻市立桜坂高等学校

# 桜坂だより

第29号



こんにちは、桜坂高等学校です。  
今回は、5月6日に行われた高体連石巻支部総体壮行式の様子をご紹介します。



青空のもと、本校グラウンドでは吹奏楽部の生演奏に合わせて選手たちが入場しました。



それぞれのユニフォームに身を包んだ選手たちは校長先生や生徒会長から激励の言葉を受け取り、大会への意気込みを述べました。



今年度も新型コロナウイルス感染防止の観点から、試合本番での全校応援はかないませんが、応援団の力強いエールのもと、全校生徒が一丸となって選手にエールを送りました。



# 石巻 卒業生、地域も一体で

東浜小・荻浜中運動会



東浜小学校(全校児童2人)と荻浜中学校(全校生徒3人)の合同運動会が5月21日、東浜小校庭で開かれました。児童生徒数の減少に伴い、両校は本年度末に閉校することが決まっており、これが最後の運動会。保護者や地域の皆さんのほか、昨年度両校を卒業した中高生や、すでに万石浦小・中に通っている学区内の子どもたちも招待し、小規模ながらも大きなにぎわいを創出していました。両校伝統の「復幸荒波ソーラン」演舞では卒業生らも加わり、総勢15人で勇壮な舞を披露しました。

# 河北 夏季はのびのび山の上

上品山牧場で放牧始まる

市営上品山牧場で、5月20日から繁殖用メス牛の放牧が始まりました。牧場は昭和47年に開設され、傾斜地などでの運動が牛の足腰強化やストレス解消につながります。今年は河北、河南、桃生地区から計25頭の黒毛和牛が入牧。注射や体重測定、消毒のあとに広い牧草地に放たれました。牛たちは10月28日までの161日間、山の上でのびのびと過ごしています。



# 雄勝 雄勝小・中学校「奇跡の桜」壁画完成

全児童生徒の笑顔も描く

雄勝小中学校に、子どもたちの思いのこもった「奇跡の桜」壁画が完成し、5月6日、完成披露会が行われました。壁画は、一般社団法人SEAWALL CLUBが企画、東京在中芸術家の安井鷹之介さんと雄勝小中学校の児童生徒全員との共同制作です。壁画には、震災で残った「奇跡の桜」を中心に児童生徒33人がモチーフとなり、笑顔いっぱいの元気な表情が壁一面に描かれております。



# 河南 広淵小で恒例の田植え

秋の稲刈りが楽しみ

広淵小学校で5月16日、恒例の5年生による田植えが学校近くの広淵寺裏ほ場で行われました。広淵ふるさと保全会のメンバーが指導にあたり、児童33人は10アールの田んぼの5分の1の区画に次々と足を踏み入れました。長靴を脱いで裸足になる児童が多く、「冷たい」「ぬるぬるする」と言いながらも、みんな楽しそうに手で苗を植えていきました。秋には稲刈りを行う予定です。



# 桃生 火災、水害に備え機敏に

出張所指導で団員訓練

石巻市消防団桃生地区団の本年度団員訓練が5月29日に桃生総合支所駐車場で行われました。指導者を含め約70人が参加し、規律訓練で統一のある機敏な行動を見せ、放水訓練では迅速な消火活動に向けた連帯感を披露しました。団員は火災や水害に備え、河北消防署桃生出張所の指導を仰ぎながらきびきびと行動していました。



# 北上 三陸の海の幸が一堂に

第7回潮騒まつり

ゴールデンウィークに合わせた「第7回潮騒まつり」が5月3～5日、神割崎キャンプ場で3年ぶりに開かれました。飲食を中心に18ブースが出店した会場では、地場産ホタテの浜焼きや活ホヤ、乾物販売のほか、わかめラーメン、カキ汁など軽食も提供。くじ引きやダーツ、ネイルアートなど子どもや女性が楽しめるコーナーも人気を集めていました。会場近辺の芝生では親子がレジャーシートを広げ、ゆったりと食を楽しむ光景が見られました。



# 牡鹿 アウトドアを楽しく過ごすために

家族旅行村でキャンプ講習会

4月24日、おしか家族旅行村オートキャンプ場を会場にキャンプ講習会が開催されました。自然でのレジャーを楽しんでもらうため、牡鹿半島ビジターセンター運営協議会が、キャンプ初心者の方を対象としたもので、テントの張り方、火の起こし方、固形燃料を使ったポップコーンづくりなども体験し、参加者は楽しみながらキャンプの基礎を学んでいました。

